

愛知県水道広域化推進プラン（案）に対する御意見の概要と県の考え方について

番号	御意見の概要	県の考え方
1	<p>安易な広域化推進は止めて頂きたいと思います。水道は地方自治の基本であり、水は命、人権だと思しますので、老朽化、耐震化だと市民を置き去りに、勝手にどんどんと進めるのだけは止めて頂きたい。</p> <p>最終的に、各水道事業者が広域化に参加するかどうかを決める事になるのでしょうか「補助金」というアメと「ペナルティー」というムチを使って追い込むのは止めて下さい。「民間活用」とありますが、民間が入ると費用が上がるのでは？株主配当・役員報酬が上乘せされますよね？地域の水道を一番知っているのは地元の業者さんであり、職人さん達です。有事の際にも関係する事ですので、地元の方々をカットしていく広域化であるならば、、、再考して欲しい。私は市民もこれからの水道について、一緒に考えて行くべきだと思います。</p>	<p>水道事業を取り巻く経営環境が厳しさを増す中、水道の基盤の強化を図るため、広域化、広域連携を進めていくことは非常に重要であると認識しております。プランを進めるに当たっては、市町村等水道事業者と検討を重ね、各水道事業者の自主性を尊重しながら進めてまいります。</p> <p>また、必要に応じて検討状況について、HP等で公表してまいりたいと考えています。</p>
2	<p>私は下記の理由から水道広域化に反対します。</p> <p>各市町村は地域の自然的社会的条件を考慮して水道の計画を策定すべきですが、広域化は各自治体が有する水源の廃止を招きかねず、水の自治を奪うことに繋がると思います。</p> <p>また、将来的なコストに課題があり、効率化という面で広域化は確かに有効かもしれませんが、効率化、コストばかりに目を向けすぎるあまり、広域化の後に民営化というプロセスを呼び込むことになるのではと危惧しております。</p>	

番号	御意見の概要	県の考え方
3	<p>P 6 安全な水の確保</p> <p>愛知県知多半島は、長良川の最下流の河口堰の水を100%飲んでい る、特別な地域です。今年の3月26日県民講座「長良川河口堰の現在の課 題と最適運用について」では、長良川の河口堰の安全性は確認してい ないとの説明がありました。河口堰の水には、農薬などの有害な物質が混入し やすい状況にあり、特別な安全確認や、緊急時の検知方法や運用方法が必 要と考えています。安全性を確保するために、活性炭処理を常時するなど 安全性が確認されていない場合は、飲料水としての使用を停止すべきと考 えています。まだ明確ではありませんが、知多市の自殺率のデータは、半 分近くに低下することが時々見られます。自殺率が低下する時期に知多浄 水場の活性炭の使用量が多い時期と重なっています。</p>	<p>長良川河口堰から取水する水道原水については、愛知県水道用水供給事業 において原水水質状況を踏まえた浄水処理や緊急時の連絡体制など適切に 運用されており、安全性に問題ないと考えています。</p>
4	<p>p11 地下水の取水量の多い西尾張ブロック・・・</p> <p>遠くの水源を利用する場合、地震などに弱い供給能力となります。近く の井戸などをもう少し増やすようにし、信頼性の向上が必要では。</p>	<p>御意見のとおり、災害等の非常時の給水のため、井戸等の自己水源を持つ ことは有効ではありますが、地域によっては、水量や水質に問題があり利用 できない場合もあり、通常時から安全で安定的に水の供給を続けるため には、遠くの水源を利用することも必要となります。</p>
5	<p>P12 浄水施設耐震率</p> <p>東尾張ブロックの浄水施設耐震率は、0.0%と全国平均32.6%から比べ 大きく低下しています。これでは、大地震発生時には、東尾張ブロックで は長期間断水することになり、大変なことになることが予想されます。 0.0%の説明を具体的にすべきです。</p>	<p>御意見を踏まえ、東尾張ブロックの浄水施設耐震化率が0.0%の説明を追 記しました。</p> <p>なお、東尾張ブロックでは、愛知県水道用水供給事業から水道用水の供給 を受けている水道事業者が多いため、耐震化が必要な浄水施設が少なく、 その規模も小さいことから、大規模地震発生により浄水施設に被害が発生 した場合でも、別の施設からの水運用（融通）等により、長時間の断水に なる可能性は低いと考えられます。</p>

番号	御意見の概要	県の考え方
6	<p>p12、p13 ①停電に対する対応状況 ②土砂災害・・・ ③浸水災害・・・</p> <p>対応の取れてない箇所を明確にしてください。対応の取れてない地域を明確にすることで、対応が大きく改善するものと思います。</p>	<p>御意見を踏まえ、ブロック単位の箇所数を記載しました。</p>
7	<p>p14 給水原価に関する事項</p> <p>知多半島は、長良川河口堰の水を飲んでいます。県民講座「長良川河口堰の現在の課題と最適運用について」では、長良川河口堰の水は、計画では工業用水と水道水に使う計画でしたが工業用水には全くつかってなく、使っているのは、たった16%で既存の水源で賄えます。つまり建設費1493億円は無駄であったとありました。この無駄使いについても少し触れる必要があるのでは、また更新するのかなども触れる必要があるのでは。</p>	<p>長良川河口堰からの安定的な水の給水により、水道用水が供給される知多半島では節水などの支障は発生していません。</p> <p>長良川河口堰の建設や更新に関しては、本プランでは対象としておりませんが、いただいた御意見については、関係局と共有させていただきます。</p>
8	<p>p17 更新費用 更新基準の平均値</p> <p>主要な設備、配管の耐震化は必要ですが、壊れないように補修するのではなく、壊れてから補修するでもよいのでは。</p>	<p>御意見のとおり、各水道事業者は、リスク（断水した場合の影響等）の高い設備・管路から優先的に更新し、リスクの低い設備・管路は修繕対応により使用を続ける等、施設によって両者を使い分けながら更新を進めております。ただし、本プランでは、全体の更新規模を把握するため、全ての施設、管路を更新することを想定して試算しており、今後、そうした詳細な検討も試算に反映する必要があると考えております。</p>